

2023年9月から村田町の農家の元で研修している佐藤佑樹さんは、柴田町での新規就農を目指し、日々技術習得に励んでいる。研修について佐藤さんは「作物ごとの栽培法や管理方法を学ぶことができ、毎日が勉強になることばかりだ」と話す。

就農後は、春にアスパラガス、秋はイチジクなど、作物の旬を大切にしたい作付けを計画している。

特に力を入れたい作物はアスパラガスで、主に流通する緑色品種ではなく、ピンク色の販売を検討している。アントシアニンを多く含む紫色品種を遮光管理することで、ピンク色に育つと言われており、日射量調整のため、慣行栽培より難易度が高いうえ、栽培事例が少ない。

試行錯誤を続けている佐藤さんだが「柴田町は、桜の名所であり、桜前線とともにアスパラガスの収穫を迎える。ピンクアスパラガスが町の名産品になれるように試行錯誤を続けていきたい」と意気込みを語る。

【記事提供】柴田町農業委員会

ブロッコリーの苗を育成中の佐藤さん

